

報道関係者各位

2019年6月28日
株式会社Viibar

動画メディア「bouncy」事業譲渡に関するお知らせ

株式会社Viibar（ビーバー、本社：東京都品川区、代表取締役CEO：上坂優太）は、運営する動画メディアbouncy（バウンシー）を、株式会社朝日新聞社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：渡辺雅隆）に本年7月12日付で事業譲渡することを取締役会において決定いたしました。これにより当社は成長するBtoB動画領域（※1）に経営資源を集中してまいります。また、朝日新聞社とは今回の事業譲渡をきっかけにパートナーシップを強化し、デジタル領域における動画活用の推進に共に注力してまいります。

bouncyは「未来を感じる」をテーマに、スマートフォンでの視聴に最適な映像をお届けする動画メディアです。国内外での撮り下ろしの動画はもとより、世界中から選りすぐりの動画を毎日お届けしています。現在、イベント開催やサイネージ配信といったリアル空間への取り組みにも注力しており、月間動画再生回数は平均7,000万回（※2）を超えるまでに成長。多くのユーザーに愛されるメディアに育ってきました。一方で、今後さらなる飛躍のためにはビジネスとしてのスケールが求められています。

朝日新聞社は、「紙からデジタルへ」の流れが加速するなか、デジタル事業の成長戦略を最優先課題に位置づけ、「朝日新聞デジタル」の強化やメディアラボの立ち上げ、動画メディア「Moovoo（ムーブー）」の運営などに注力してまいりました。また強固な広告営業基盤を保有し、これらのビジネス開発を強力に推進してまいりました。

上記を鑑み、bouncyの事業をさらに拡大し、メディアとしての持続性を維持していくためには、朝日新聞社傘下で運営することが最適と考え、今回の譲渡に至りました。新体制におきましては、事業責任者である津田啓夢（つだひろむ）が編集長を務めます。

Viibar社は今回の事業譲渡により、成長するBtoB動画領域に経営資源を集中し、さらなる成長加速のためのリソース強化や、新規事業等に積極的に投下していくことで、継続的な企業価値向上につなげていきたいと考えております。

また、朝日新聞社とは本件をきっかけにパートナーシップを強化し、デジタル領域における動画活用の推進に共に注力していきます。

※1 現在、BtoB動画領域において、「企業向け動画サービス」、「メディア向け動画サービス」、「SaaS」を展開しています。

※2 公式ホームページやSNS、ニュースメディア等、bouncyの全ての配信先における月間の総動画再生回数の直近3ヶ月の平均

【会社概要】

■ 株式会社Viibar (<https://viibar.com>)

本社 : 東京都品川区上大崎2-13-17 目黒東急ビル5階
代表取締役 : 上坂 優太
設立 : 2013年4月
事業内容 : BtoB動画サービスの提供

■ 株式会社朝日新聞社 (<https://www.asahi.com/corporate>)

本社 : 東京都中央区築地5-3-2 (東京本社)
代表取締役社長 : 渡辺 雅隆
創刊 : 1879年1月
事業内容 : 日刊新聞の発行ほか

【本件のお問い合わせ先】

株式会社Viibar
担当 : 広報 内藤
TEL : 03-6455-7933 / Mail : pr@viibar.com